

財政事情の公表

地方自治法第243条の3第1項及び吉富町財政事情書の作成及び公表に関する条例に基づき、令和2年度決算及び令和3年度上半期の財政事情を別紙のとおり公表します。

令和4年10月31日

吉富町長 花 畑 明

公表内容

- 令和3年度一般会計決算の状況
- 令和4年度一般会計予算の執行状況
- 財産の状況
- 地方債及び一時借入金の状況
- 特別会計予算の状況（令和3年度決算・令和4年度予算執行状況）

1. 令和3年度一般会計決算の状況

(1) 総括

決算額及び前年度比は、下記のとおりです。

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度 (参考)	対前年度比
歳 入 総 額	4,349,896	4,620,537	▲ 5.9
歳 出 総 額	4,103,981	4,406,620	▲ 6.9
歳入歳出差引額(A)	245,915	213,917	15.0
翌年度へ繰越すべき財源(B)	28,171	21,917	28.5
実質収支(A) - (B)	217,744	192,000	13.4

(2) 歳入の状況

令和2年度の特別定額給付金(町民1人につき10万円を給付)が大幅減となりましたが、地方交付税の追加交付56,650千円や新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金(中小事業者等の固定資産税の軽減措置を行った分の補填)11,411千円、繰越事業に対する町債発行や臨時財政対策債の増(繰越事業分175,900千円、臨時財政対策債の対前年度比+30,616千円)により例年よりも大きな水準となっています。

また、ふるさと吉富まちづくり応援基金(ふるさと納税の基金積立て)を活用したため繰入金は前年度比で増額となっているものの、財政調整基金の取崩しを行わなかったため、基金残高の大幅な増額を達成することができました。

(単位:千円、%)

科目	令和3年度	令和2年度 (参考)	対前年度 増 減 率	用 語 説 明
町税	774,256	806,952	▲ 4.1	皆さんが町に支払った税金【町民税(個人・法人)、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など】
地方譲与税	22,826	22,488	1.5	皆さんが国に支払った税金の一部が町の道路延長や面積に応じて町に分配される【地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税など】
利子割交付金	393	495	▲ 20.6	貯金利子に課税される県民税の一部が個人県民税額の割合に応じて町に分配される
配当割交付金	3,967	2,491	59.3	上場株式などの配当等に課税される県民税の一部が個人県民税額の割合に応じて町に分配される
株式等譲渡所得割交付金	4,629	3,250	42.4	株式等譲渡所得等に課税される県民税の一部が個人県民税額の割合に応じて町に分配される
法人事業税交付金	10,150	3,923	158.7	県が徴収する法人事業税の一部が法人税割額に応じて町に配分される
地方消費税交付金	151,276	139,015	8.8	地方消費税として課税される県民税の一部が一定の基準によって町に分配される
環境性能割交付金	2,822	2,813	0.3	自動車取得の際に支払った環境性能割が市町村の道路延長や面積に応じて町に分配される
地方特例交付金	18,326	6,587	178.2	国の方針による減税で減収となった町税の一部を補てんするために国から町へ分配される
地方交付税	1,391,884	1,210,487	15.0	『普通交付税』・・・所得税、法人税などの国税、法定5税を財源に、全国どの市町村に住んでも一定水準の行政サービスが受けられるよう国から町へ分配される 『特別交付税』・・・その年の災害など特殊な事情で国から町へ分配される
交通安全対策特別交付金	770	816	▲ 5.6	交通違反の反則金を財源に、道路照明灯、カーブミラーなどの道路交通安全施設を作るために国から町へ分配される
分担金及び負担金	59,979	57,971	3.5	皆さんがサービスを利用するときに支払ったお金【保育所保育料、健診負担金など】
使用料及び手数料	42,068	40,817	3.1	証明書発行時の手数料や町施設を利用したときの利用料など【住民票等の発行手数料、町営住宅家賃、公共施設使用料など】
国庫支出金	893,631	1,413,298	▲ 36.8	町が行う特定の公共サービスに必要なお金の一部あるいは全部について、国から町に交付されるお金
県支出金	220,524	211,783	4.1	町が行う特定の公共サービスに必要なお金の一部あるいは全部について、県から町に交付されるお金
財産収入	8,176	2,342	249.1	町の定期預金(基金)の利子や町有地の貸付け、売払いで得た収入
寄附金	24,397	30,543	▲ 20.1	町への寄附金
繰入金	173,558	160,478	8.2	町の定期預金(基金)を取り崩したお金

繰越金	113,916	167,967	▲ 32.2	前年度からの繰越事業の財源として繰り越されたお金と前年度決算で残ったお金
諸収入	60,700	41,553	46.1	他の収入科目に含まれない収入 【延滞金、預金利子、貸付金元利収入、雑入】
町債	371,648	294,468	26.2	町の借入金で、町が事業などをする際にその財源として国や金融機関などから借りるお金
合計	4,349,896	4,620,537	▲ 5.9	

(3) 歳出の状況

①科目別内訳

歳出に占める割合が高い主な事業について、総務費は基金積立金（減債基金積立：30,516千円、地域振興基金積立：55,000千円）、民生費は給付金事業（住民税非課税世帯：78,436千円、低所得者世帯：5,781千円、子育て世帯：114,128千円、その他新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を利用した給付金：66,480千円）、土木費は橋・道路整備（対前年度比+164,203千円）や公営住宅改修（対前年度比+71,510千円）となっています。

また、対前年度比で減額しているものは総務費の特別定額給付金（△682,292千円）、農業水産業費の漁港施設工事費（△23,896千円）、商工費のプレミアム商品券事業（△11,643千円）等です。

（単位：千円、％）

科目	令和3年度	令和2年度 （参考）	対前年度 増減率	用語説明
議会費	56,723	57,124	▲ 0.7	議員報酬等議会の活動に要する経費
総務費	745,315	1,476,246	▲ 49.5	庁舎の維持管理や町有地などの財産管理、戸籍、選挙、統計、徴税等に関する経費
民生費	1,441,674	1,195,531	20.6	社会福祉や高齢者、障害者、保育園、児童福祉等に関する経費
衛生費	278,536	234,701	18.7	保健衛生や環境衛生、し尿処理場、清掃施設などの運営や、水道施設への補助などに関する経費
労働費	3	0	0.0	失業対策事業に関する経費
農林水産業費	131,961	176,259	▲ 25.1	農業や漁業の振興を図るための支援や、生産基盤などの整備に関する経費
商工費	19,153	44,118	▲ 56.6	商業や工業の振興に関する経費
土木費	729,849	467,175	56.2	道路や河川、公園などの社会資本整備のための経費
消防費	112,432	119,725	▲ 6.1	消防や火災予防などの災害対策のための経費
教育費	292,238	317,968	▲ 8.1	教育委員会、小中学校教育、社会教育、スポーツ振興などに関する経費
公債費	296,095	287,514	3.0	国や金融機関から借りたお金の元金、利子の返済金
諸支出金	2	9	▲ 77.8	他の支出科目に含まれない支出
災害復旧費	0	30,250	▲ 100.0	洪水、暴風、地震その他の災害によって被害を受けた施設等を原形に復旧するための経費
合計	4,103,981	4,406,620	▲ 6.9	

②性質別内訳

義務的経費は14.3％の増となっていますが、住民税非課税世帯への給付金等、国の予算に基づく扶助費の増（各給付金の扶助費額：193,650千円）が影響しています。人件費は新陳代謝による職員給の減（△20,163千円）のため対前年度比で減となっています。

投資的経費は橋・道路整備、公営住宅改修により増、補助費等は特別定額給付金が減、積立金は地方交付税の追加交付による減債基金への積立や、歳出を上回る歳入が確保できたことによる地域振興基金への積立により増となっています。

（単位：千円、％）

性質別	令和3年度	令和2年度 （参考）	対前年度 増減率	用語説明
義務的経費	1,771,004	1,549,914	14.3	
人件費	649,549	669,548	▲ 3.0	職員の給料や手当、各種委員報酬などの経費
扶助費	825,360	592,852	39.2	子育て支援など社会保障に関する経費
公債費	296,095	287,514	3.0	町の借入金返済のための経費

投資的経費	575,733	434,180	32.6	
普通建設事業費	575,733	403,930	42.5	道路、学校、公共施設などの整備、改修等に関する経費
災害復旧費	0	30,250	▲ 100.0	災害によって被害を受けた施設を原状に復旧するための経費
その他経費	1,757,244	2,422,526	▲ 27.5	
物件費	508,077	489,300	3.8	光熱水費、消耗品、施設・機械等の保守管理などに関する経費
維持補修費	9,839	4,793	105.3	公共施設等の効用維持のために要する経費
補助費等	713,983	1,495,507	▲ 52.3	町からの補助金、一部事務組合への負担金に関する経費
積立金	241,100	163,815	47.2	基金への積立金
投資及び出資金	200	0	0.0	公益上の必要性による株式、債券等の取得や、他団体・他会計への出資に要する経費
繰出金	284,045	269,111	5.5	他会計に支出する経費
合 計	4,103,981	4,406,620	▲ 6.9	

(4) 経常収支比率、実質公債費比率の状況（財政構造の弾力性）

①経常収支比率 80.8%（対前年度比△4.2%）

経常収支比率は、毎年入ってくるお金（町税や地方交付税など）が、毎年経常的に出ていくお金（人件費、公債費など）に、どれぐらい使われているのかを示す割合です。

この比率が高くなるほど、町が自由に使えるお金が少なくなり、住民サービスが低下してしまいます。

令和3年度は経常収支比率が80.8%で、標準の範囲内であり、県内平均87.1%に比べて良好です。

②実質公債費比率 8.0%（対前年度比±0.0%）

実質公債費比率は、収入に対して、借入金返済の費用がどのぐらいあるのかを示す割合です。

この数値が高くなるほど、住民サービスに振り分けるお金が減ることとなります。

令和3年度は8.0%で、危険水準とされる25%を大幅に下回り、良好です。

③将来負担比率 2.6%（対前年度比△2.9%）

将来負担比率は、借金の返済や将来負担しなければいけないお金（職員の退職金など）が、今後見込まれる収入に対してどのぐらい上回っているのかを示す割合です。

この数値が高くなるほど、町の財政が、将来圧迫される可能性が高くなります。

令和3年度は2.6%で、危険水準とされる350%を大幅に下回り、良好です。

(5) 地方債の状況

地方債の年度末残高は、3,499,372千円となり、前年度に比べ87,290千円の増額となりました。

令和3年度は公営住宅改修、橋・道路整備、保育所遊具整備、漁港整備、防災無線更新等のために地方債を発行しました。

※地方債年度末現在高の推移 (単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
臨時財政対策債	1,539,323	1,508,107	1,476,082	1,438,218	1,426,184
その他の地方債	1,746,492	1,854,739	1,914,408	1,973,864	2,073,188
合計	3,285,815	3,362,846	3,390,490	3,412,082	3,499,372

(臨時財政対策債については、後年度に国から返済のための財源が100%手当てされます。その他の地方債の多くも返済の財源が国から一部手当てされるものをできるだけ活用しています。)

(6) 基金の状況

町の貯金である基金の残高は、2,645,932千円となり、前年度末に比べ168,014千円の大幅な増額です。

歳出を抑えられたことにより財政調整基金の取崩しが不要となり、令和2年度の剰余金の積立て分が増額となりました。また、減債基金と地域振興基金についても、積立てにより増額となっています。

※基金の年度末現在高の推移 (単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財政調整基金	1,007,382	1,058,083	1,063,181	1,223,662	1,324,276
減債基金	350,291	350,371	350,493	350,596	381,168
その他特定目的基金	980,084	935,634	900,173	903,660	940,488
合計	2,337,757	2,344,088	2,313,847	2,477,918	2,645,932

※ふるさと吉富まちづくり応援基金は精算分を含むため、5月末現在の数値となっています。

(7) まとめ

令和3年度は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業やワクチン接種を行いながらも、かわまちづくり事業の実施計画の策定や地域おこし協力隊委託事業、橋・道路等のインフラ整備、公営住宅の改修等、町の活性化に繋がる事業を積極的に展開しました。

歳入面において、町税は対前年度比で減収となりましたが、地方交付税や地方特例交付金が追加交付されたこともあり、結果として歳入が十分に確保でき、全体としては良好な財政状況を維持できました。

歳入においては、自主財源の確保が課題となっていますが、返礼品を伴うふるさと納税の推進を図るため、特産品の開発や地域おこし協力隊による町のPR等、寄附金額を増額させる取組みを行いました。

また、歳出では各種事業を積極的に行いながらも、電気料金の自由化による電気料の減等、削減できる費用の精査に努めました。結果、歳入が歳出を大きく上回り、財政調整基金の取崩しを行わない運営が達成できました。さらに、大きく上回った財源を活用し、地域振興基金を積立てることができ、基金残高が大幅増となりました。

健全な運営ができていますが、今後の課題として、地方債残高の増額傾向、義務的経費の増額傾向や、施設の老朽化による改修・更新が見込まれます。

安定した財政を継続・維持できるよう、収支のバランスが取れた計画的な財政運営に努めて参ります。

2. 令和4年度一般会計予算の執行状況（9月末現在）

【歳入】

【歳出】

（単位：千円）

款 別	現計予算額	収入済額	款 別	現計予算額	支出済額
町 税	725,675	481,142	議 会 費	58,151	28,953
地 方 譲 与 税	20,682	6,128	総 務 費	715,067	232,917
利 子 付 割 金	300	106	民 生 費	1,401,825	538,551
配 当 付 割 金	1,500	717	衛 生 費	360,088	137,916
株 式 等 譲 渡 金 所 得 割 交 付 金	1,000	0	労 働 費	5	0
法 人 事 業 税 金	6,000	6,073	農 林 水 産 業 費	46,964	14,861
地 方 消 費 税 金	138,000	83,168	商 工 費	95,088	17,704
環 境 性 能 割 金	3,800	1,022	土 木 費	508,251	246,258
地 方 特 例 金	4,000	7,081	消 防 費	125,325	61,367
地 方 交 付 税	1,168,951	958,714	教 育 費	303,447	131,401
交 通 安 全 対 策 金 特 別 交 付 金	700	331	公 債 費	318,625	158,877
分 担 金 及 び 金	63,984	29,507	諸 支 出 金	97	0
使 用 料 及 び 料	44,625	20,194	予 備 費	5,043	0
国 庫 支 出 金	718,296	82,262	災 害 復 旧 費	0	0
県 支 出 金	230,334	22,973			
財 産 収 入	5,776	2,472			
寄 附 金	63,380	23,134			
繰 入 金	436,235	140,001			
繰 越 金	52,935	135,915			
諸 収 入	39,121	4,354			
町 債	212,682	0			
合 計	3,937,976	2,005,294	合 計	3,937,976	1,568,805
収 入 率		50.9%	執 行 率		39.8%

※ただし、歳入・歳出ともに、前年度からの繰越明許費（予算額140,084千円）を含んでいます。

3. 財産の状況 (令和4年9月末現在)

土地 346,985 m ²	建物 31,135 m ²	基金・有価証券・出資金 3,221,065 千円
------------------------------	-----------------------------	-----------------------------

4. 地方債及び一時借入金の状況 (令和4年9月末現在)

(1) 一般会計債 事業別

(単位：千円)

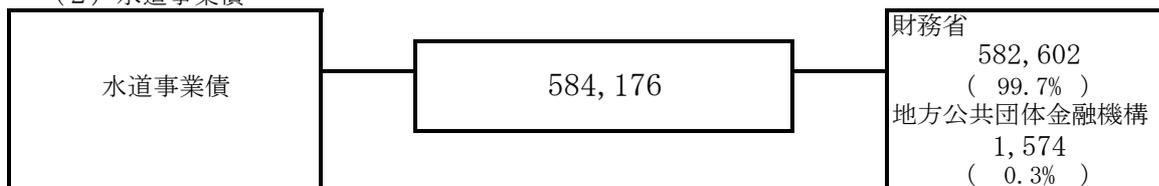
漁港施設債	町住宅債	営 業施設債	教育福祉施設債	道 路施設債	体 育施設債	水 道施設債	防 災施設債	吉富駅前周辺整備事業	農業施設債	庁舎増改築事業	その他事業債	災害復旧事業債	減 税 補 て ん 債	減 収 補 て ん 債	臨時財政対策債
128,351	705,239	132,911	203,335	11,626	142,013	279,704	103,727	68,827	180,185	4,500	10,306	7,608	4,451	1,363,169	
3.8%	21.1%	4.0%	6.1%	0.4%	4.2%	8.4%	3.1%	2.1%	5.4%	0.1%	0.3%	0.2%	0.1%	40.7%	

3,345,952

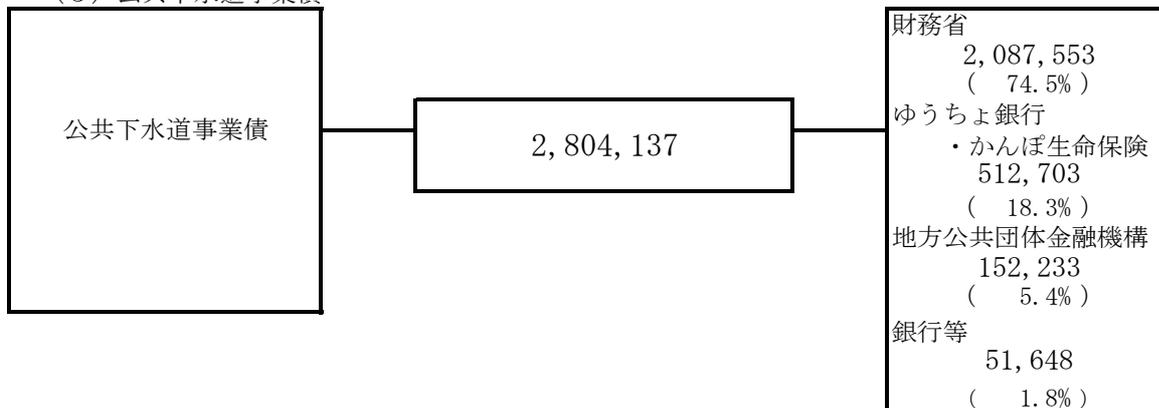
借入先別

財務省 2,166,195 (64.7)%	ゆうちょ銀行 ・かんぽ生命保険 49,368 (1.5)%	地方公共団体 金融機構 873,884 (26.1)%	銀行等 256,505 (7.7)%
-------------------------------	--	--	----------------------------

(2) 水道事業債



(3) 公共下水道事業債



5. 特別会計予算の状況

(1) 国民健康保険特別会計

(単位：千円、%)

令和3年度決算

区分	3年度	2年度 (参考)	対前年度 増減率
歳入総額	823,266	783,101	5.1
歳出総額	796,623	771,823	3.2
歳入歳出 差引額	26,643	11,278	136.2

令和4年度予算執行(9月末現在)

歳入	歳出		
予算現額	796,003	予算現額	796,003
収入済額	339,604	支出済額	316,137
収入率	42.7	執行率	39.7

(2) 奨学金特別会計

令和3年度決算

区分	3年度	2年度 (参考)	対前年度 増減率
歳入総額	22,760	25,356	▲ 10.2
歳出総額	13,762	17,048	▲ 19.3
歳入歳出 差引額	8,998	8,308	8.3

令和4年度予算執行(9月末現在)

歳入	歳出		
予算現額	33,774	予算現額	33,774
収入済額	16,848	支出済額	4,350
収入率	49.9	執行率	12.9

(3) 後期高齢者医療特別会計

令和3年度決算

区分	3年度	2年度 (参考)	対前年度 増減率
歳入総額	111,740	113,083	▲ 1.2
歳出総額	109,101	110,355	▲ 1.1
歳入歳出 差引額	2,639	2,728	▲ 3.3

令和4年度予算執行(9月末現在)

歳入	歳出		
予算現額	115,099	予算現額	115,099
収入済額	39,391	支出済額	36,813
収入率	34.2	執行率	32.0

(4) 下水道事業会計

令和3年度決算

区 分	金 額
総 収 益	283,098
総 費 用	258,087
差 引 額	25,011
資本の収入	270,969
資本の支出	375,588

(5) 水道事業会計

令和3年度決算

区 分	金 額
総 収 益	157,478
総 費 用	118,262
差 引 額	39,216
資本の収入	73,012
資本の支出	121,714

令和4年度予算執行（9月末現在）

収 入			支 出		
区 分	予 算 額	執行済額	区 分	予 算 額	執行済額
収 益 の 入	286,705	158,125	収 益 の 出	273,610	23,957
資 本 の 入	368,831	20,847	資 本 の 出	481,348	11,723

令和4年度予算執行（9月末現在）

収 入			支 出		
区 分	予 算 額	執行済額	区 分	予 算 額	執行済額
収 益 の 入	151,658	58,370	収 益 の 出	144,192	25,943
資 本 の 入	135,564	15,700	資 本 の 出	181,439	2,206